CHECK LIST

準備する

CHECK!

- ☐ 手をよく洗う。
- ☐ 注射する部位を決め、消毒する。
- ☐ 針キャップをはずす。
- ☐ シリンジの破損（注射針の変形等を含む）などの異常が無いことを確認する。

注射する

CHECK!

- ☐ 注射部位の周囲の皮下脂肪をつかみ、針を奥まで刺す。
- ☐ 皮下脂肪をつかんでいた手を離し、薬液をゆっくり注入する。

注射が終わったら

CHECK!

- ☐ 注射した部位を消毒用アルコール綿で軽く押さえる。
- ☐ 使用済みのシリンジを、主治医の指示に従って安全な容器に入れて廃棄する。

保管方法

- ●光の影響を防ぐため、本剤は外箱に入れて保管してください。
- ●使用前のオビドレル®皮下注シリンジは、2～8℃（冷蔵庫の中）で保管してください。
  なお、使用期限内であれば、再冷蔵せず25℃以下で30日間保存可能です。
  ただし、この期間（30日間）内に使用しなかった場合は廃棄してください。

※本剤はお子さんの手が届かないところに保管してください。

オビドレル®皮下注シリンジの操作に関するお問い合わせ

メルクセローノ ペイシェントサポートセンター

フリーダイヤル 0120-576-426

受付時間 7:00～23:00／365日

メルクバイオファーマ株式会社

東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー

URL https://www.merckgroup.com/jp-ja

JP-HCG-00006

2020年11月作成

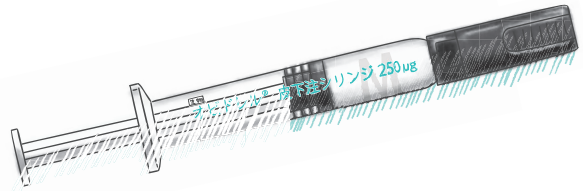
オビドレル®皮下注シリンジ250μgを使用されている方へ

医師記入欄 ［　月　日　：　］に注射を行ってください。

実際に注射を行った日時 ［　月　日　：　］

オビドレル® 皮下注シリンジ 250μg
取扱と注射のしかた

OVIDREL®



オビドレル®皮下注シリンジ250μgの取扱と注射のしかたを、動画でご確認いただけます。
左のQRコードまたは下記URLからアクセスしてください。

http://kenkyuukai.jp/merck-fe/ov/howto.asp

視聴により発生する通信料は、視聴者様のご負担となります。

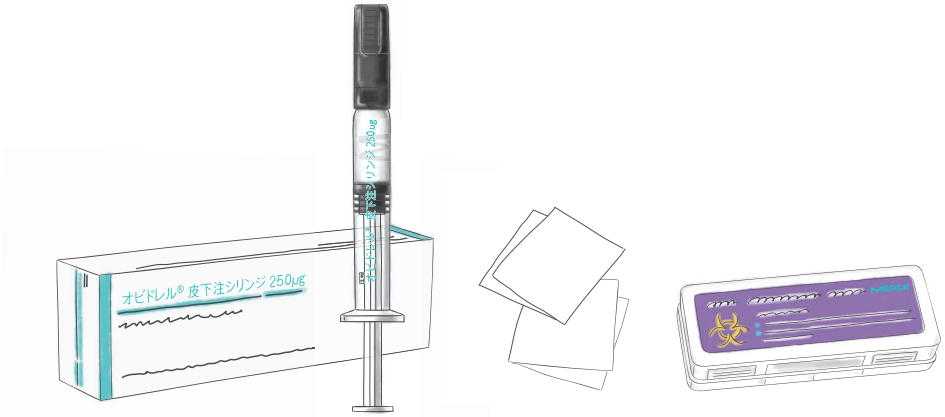
OVIDREL® PreFilled Syringe
(choriogonadotropin alfa injection)

MERCK

オビドレル®皮下注シリンジの使用に際しては、製品に添付されている取扱説明書を併せてご覧いただき、主治医の指示に従って、正しくご使用ください。また、ご使用にあたり不明瞭な点がある場合には、主治医もしくは薬剤師にご確認ください。本書はいつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。この薬はあなた個人用に処方されたものです。絶対に他の人に渡したり他の人と共用しないでください。

注射を行う前に準備するもの

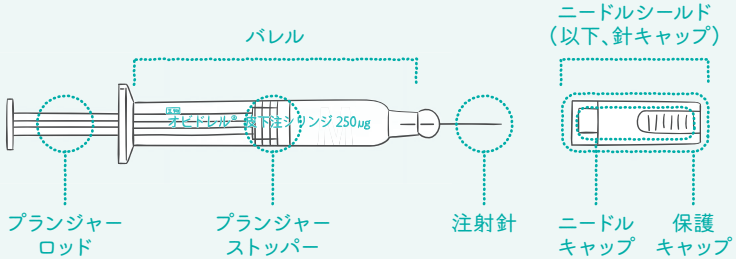
在宅でオビドレル®皮下注シリンジ（以下、シリンジ）を注射する前に、
オビドレル®皮下注シリンジ、消毒用アルコール綿、シリンジ廃棄容器を
あらかじめ清潔な場所に並べておきます。



オビドレル®皮下注シリンジ　消毒用アルコール綿　シリンジ廃棄容器

●アルコールアレルギーの方は主治医や看護師の指示に従ってください。

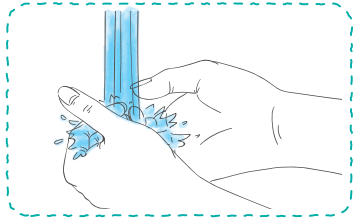
シリンジの各部名称



●外箱、ラベルに記載された使用期限を過ぎたものは使用しないでください。●薬液に濁りや着色がある場合は使用せず、主治医に連絡し、指示を仰いでください。●オビドレル®皮下注シリンジの破損（注射針の変形等を含む）やその他の異常にお気づきの時は、ただちに使用を中止し、すみやかに主治医に連絡をし、指示を仰いでください。●注射のタイミングについては、主治医の指示に従ってください。

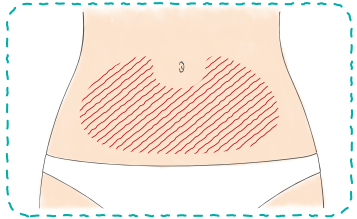
皮下注射の準備

1 手をよく洗う



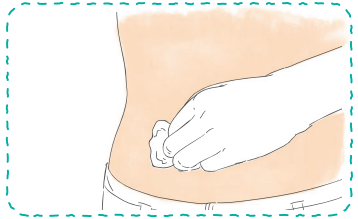
注射の準備を行う前に、必ず手を洗ってください。手やご使用になる器具を清潔にしておくことが重要です。

2 注射する部位を決める



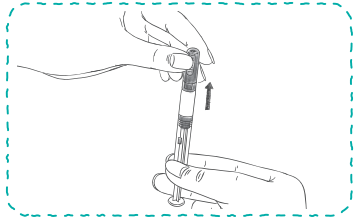
注射する部位を決めます。へそのまわりを避け、下腹部の皮下脂肪でつかみやすい箇所を選んでください。

3 注射する部位を消毒する



注射する部位を消毒用アルコール綿で消毒し、乾くまで待ちます。

4 針キャップをはずす



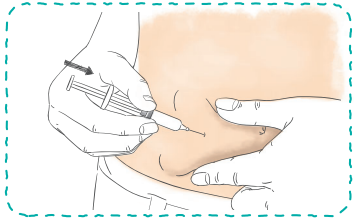
注射針を上に向けた状態で、シリンジ本体を持ち、シリンジから針キャップを注射針が曲がらないようにまっすぐ慎重に外します。手や他のものが注射針に触れないように、注射針を衛生的に保ってください。

●アルコールアレルギーの方は主治医や看護師の指示に従ってください。

●針キャップを外す際、注射針が針キャップに触れると、注射針の変形(曲がり、折れ等)の原因になる可能性があります。●空気抜きは不要です。

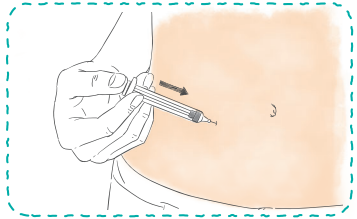
皮下注射をする

5 注射部位の周囲の皮下脂肪をつかみ、針を刺す



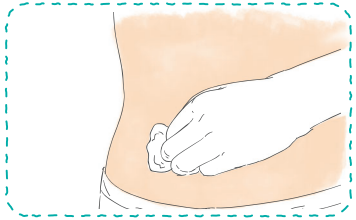
片手にシリンジを持ち、もう片方の手で、しっかりと注射部位の周囲の皮下脂肪をつかみます。注射する場所に対し、およそ45～90度の角度で針を奥まで皮膚に刺します。シリンジの中に血液が入ってきた場合には、針を皮膚から抜かずに、少しだけ戻して針先の位置を変えてください。詳しくは主治医や看護師の指示に従ってください。

6 ゆっくりと注入する



皮下脂肪をつかんでいた手を離し、ゆっくりと一定の速さですべての薬液が注入されるまでプランジャーロッドを押します。終わったらゆっくりと注射針を抜いてください。

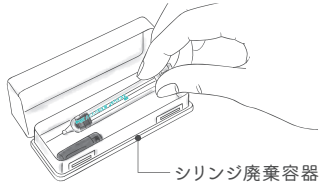
7 注射した部位を消毒用アルコール綿で軽く押さえる



注射した部位を消毒用アルコール綿で軽く押さえてください。数分たっても出血がとまらないようであれば、新しい消毒用アルコール綿に換え、絆創膏で覆ってください。

●消毒用アルコール綿で軽く押さえた後、注射部位をもまないようご注意ください。

注射が終わったら シリンジを捨てる



●一旦外した針キャップを針に再装着しないでください。

使用済みのシリンジは、主治医の指示に従って安全な容器に入れて廃棄してください。一度使用したものは再利用しないでください。

Q&A
よくあるご質問

Q 指示された時間に注射ができませんでした。

A すみやかに主治医に連絡し、指示を仰いでください。

Q 注射後、シリンジ内にまだ薬液が残っていました。

A 必要な量が注射できていない可能性があります。
すみやかに主治医に連絡し、指示を仰いでください。

MEMO